

私は昭和五九年に『チームを創る』というタイトルで本を出した。その時はもう一冊本を書こうなどとは思ってもしなかった。しかし、二年後の昭和六一年。私はもう一度本を書こうと思った。

そう思った理由は、その年の高校総体の一回戦で負けてしまったからだ。県大会の一回戦で負けるということは、もうそれ以上落ちることはないということまで落ちたということである。その、落ちるところまで落ちた自分自身が何を考え、何をやるうとしたか。そしてそれがどのような経過をたどっていったか。そんなことを書き残しておこうと思ったからである。書き残しておこうと思った時、結局はインターハイに出られないまま私のコーチ生活が終わるかもしれないと思ったが、それならそれ以後に続く若いコーチ達に必ず役に立つものが書けるにちがいないとも思った。

しかし、今になって考えてみると、それは自分自身へのプレッシャーだったのかも知れないと思うようになった。私はどちらかというと自分で自分を追い込むタイプのコーチである。挫折しそうになったら飽きてきたりした時に、何か理由を作ってそこに逃げ込まないようにするために自分で自分の退路を断ってしまうのだ。

こうして回顧録みたいなものを書く場合。その結末が、「努力しましたが失敗に終わりました」ではカッコ悪い。書くからにはやはり、「私はこうして難局を切り抜けました」となった方がいい。

県大会の一回戦で負けたチームから再び全国で通用するチームに復活させるまでには幾多の難関を切り抜けなければならぬだろうし、気が遠くなるような年月を耐え忍ばなければならぬかもしれない。そうしたことに対して、このような同時進行の回顧録を書くことによって、『私はこうして難局を切り抜けました』という結末にしなければみじめさが倍加するだけだぞ』というプレッシャーを自分に課したのではないか。今になってそう思うのである。

このようなものを書く場合、復活が成った後で昔を懐かしんで書いてもおもしろくない。後から書いたものは真実を脚色したものになりがちであり臨場感がなくなるからだ。だから私は、一回戦で負けたその日から日々のできことを克明にメモし始めた。書くにあたっては『チームを創る』とは違う形式で書くことにした。『チームを創る』では各章毎にその内容を整理した。第一章では失敗談の羅列、第二章では人の扱い方や動かし方について、第三章では実戦の作戦や戦術について、というように区分けして書いた。しかしこの本は、章立てはしてあるが各章毎の内容を整理してはいない。その内容は各年度毎の出来事を時の流れに添って書き綴っているだけである。

理由は、新チームが発足してから最終目標とする試合までの途中に何が起り、それをどのように処置し、どうやって次の段階へと進んで行ったのかというようなことが、後ををふりかえってみる私にとっても、それを読む若いコーチ達にとっても興味深いに違いないと思ったからである。

これを書くにあたり、私はまず第一に歴代のマネージャーたちに感謝しなければならぬ。彼女達が残したノートには、練習内容や試合の結果のみならず、各種データ、ケガや病気のこと、私が言ったセリフまで、要点をとらえて実に克明に記されている。だから、数年前のノートをめくってみても、その日がどんな練習で誰が調子がよくて誰がケガをしたなど、まるで昨日のことのようにはつきりと思い出せるのである。

この本は、そのように優秀な歴代のマネージャー達が残してくれたノートと私のメモを元にして昭和六一年から平成四年までの七年間の出来事を時の流れに添って書いた。この優秀なマネージャーたちの

劣に報いるために、そしてひとりでも多くの若いコーチに勇気を与えるために、そしてまた、ひとりでも多くのコーチが挫折から立ち直るために、この本が役に立ってくれればいいと願っている。

平成四年一〇月

山崎純男

目次

第一章 屈辱の船出

- ・よもやの初戦敗退
- ・始動
- ・スリーポイント
- ・メンタルリハーサル
- ・ボビー・ナイト
- ・急転直下
- ・フルマラソン
- ・固執
- ・頭打ち
- ・三流コーチ
- ・ファミリー
- ・一年後

第二章 七分三分

- ・七分三分
- ・リクルート合戦
- ・レイ
- ・目玉新人
- ・練習はいつもトーナメント
- ・スピードとクイックネス
- ・技術は半年あれば充分だ
- ・上下関係

第三章 チヨ

- ・超大物
- ・大物
- ・チヨ
- ・パル
- ・強化試合
- ・へそくり
- ・五年ぶり

第四章 ランニングスルー

- ・百円玉
- ・ボイコット
- ・大敗
- ・ランニングスルー
- ・九州国体
- ・ナウ
- ・事件いろいろ
- ・噂いろいろ
- ・はまなす国体
- ・伸び悩み
- ・人間だもの
- ・トンネル脱出
- ・バランス
- ・三パーセント

第五章 なんじゃもんじゃ

- ・NUTCRACKER
- ・沖縄
- ・仙台
- ・延岡
- ・とびうめ国体
- ・駅伝
- ・選抜
- ・ON AIR
- ・韓国遠征
- ・ハンスアップ
- ・なんじゃもんじゃ
- ・普賢岳

第六章 十九年ぶり

- ・首の皮
- ・共石シリーズ
- ・浜松
- ・ワン
- ・仁聖

・中国

・七尾

・再びナウ

・ピリオド

第七章 振り出し

・新チーム

・遠征合宿

・超大型新人

BASKETBALL TOURNAMENT OF THE AMERICAS

・優勝杯返還

・夏休み

・振り出し